

幼稚園教育

子ども一人一人の健全な心身の基礎を培う幼稚園教育

幼稚園教育の指導指針

うつくしまっ子
幼児教育振興ビジョン
～つながる幼児教育～

生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼稚園教育

健康

- ・体を十分に動かす遊びの工夫
- ・楽しく食べるための雰囲気づくり
- ・安全に生活できる施設・設備の工夫

人間関係

- ・自分の力で行動する遊びの設定
- ・身近な人とのかかわりを深める教師のかかわり

環境

- ・身近な環境にかかわる機会の充実
- ・物の性質や数量、文字などに興味をもたせる場の設定

言葉

- ・自分の気持ちを言葉で表現させる教師のかかわり
- ・想像する楽しさを味わわせる読み聞かせ等の充実

表現

- ・豊かな感性を養う直接的な活動の充実
- ・感じたこと、考えたことを様々な方法で表す遊びの充実

子ども一人一人が輝く温かい学級集団づくり ～集団活動の充実～

1 子どもが環境に主体的にかかわり、発達の各時期にふさわしい生活が展開できるような長期的・短期的に見通しをもった指導計画の作成・改善

- 子ども一人一人の発達の実情、幼稚園及び地域の実態に応じ、長期的な見通しをもった特色ある指導計画を作成するとともに、短期的な計画との往還を意識して改善を図る。
- 家庭、地域社会、小学校、保育所、認定こども園等と連携、協力しながら生活及び発達や学びの連続性を踏まえた教育ができるよう指導計画を工夫する。

2 一人一人の活動の場面に応じて、教師が様々な役割を果たし、子どもの主体的な活動が確保されるような保育の展開

- ◎ 活動の場を工夫しながら体を動かす気持ちよさを体験させ、自ら体を動かそうとする意欲を育てる。また、一日あたりの体を動かす時間が合計で**60分間確保**できるように努める。
- **人的環境**としての教師の役割を認識し、教師自身の環境へのかかわり方を工夫することを通して「遊びを中心とした総合的な指導」を充実させる。
- 特別な支援が必要な子どもや発達に心配のある子どもの指導に当たっては、関係機関と連携しながら「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」等を作成するなどして、実態に応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的・計画的に行う。

3 子どもの育ちつつある面やよさに目を向けた評価の工夫・活用

- 子ども一人一人の発達の課題に即した行動のもつ意味を理解し、計画の見直しを図ることにより、環境の再構成や次の手立てに生かすようにする。
- 週案や日案及び保育カンファレンスなどをもとに、記録を累積したり教師相互の**情報交換**や**意見交換**を活用したりして**多面的・継続的**に子ども一人一人のよさや発達を見取る。

※は参考文献等

幼稚園教育の充実のために

体を十分に動かす遊びの工夫

- ◎ 活動の場を工夫しながら体を動かす気持ちよさを体験させ、自ら体を動かそうとする意欲を育てる。また、一日あたりの体を動かす時間が合計で**60分間確保**できるように努める。

- ・体を動かすことに視点を置いた遊びを計画する。

～固定遊具を取り入れることにより運動要素が大幅に増える例～

- 例 「鬼ごっこ」
(追いかけることを中心にした場合の運動要素)
走る、止まる、かわす

(ジャングルジムを取り入れた場合の運動要素)

- 走る、止まる、かわす、這う、回る、飛び降りる、掴む、しゃがむ、上る、ぶら下がる、下りる、バランスをとる

「運動」と言っても、遊びを通して体を動かすことが基本であることに留意する。



※ 幼児期運動指針（平成24年3月 文部科学省）普及用パンフレット

幼稚園教育の充実のために ～保育のチェックポイント～

保育を振り返る際の資料として活用できるように「保育のチェックポイント」を示しました。

「チェック」欄は、日々の保育を振り返ったり、園内研修での協議資料にしたりして保育の充実を図るために御活用ください。なお、「保育の充実」欄の内容は、5領域の指導の重点です。

必要に応じて加筆・修正しながら各園の実態に即した内容に変更し、さらに保育を充実させてください。



項目	意識したいこと	チェック	
指導計画の作成・改善	長期的な見通しをもった特色ある指導計画を作成している。		
	短期的な計画と関連付けた指導計画の改善に取り組んでいる。		
	家庭、地域社会、学校等と連携・協力して指導計画を作成している。		
	子どもの生活・発達・学びの連続性を踏まえた指導計画を作成している。		
保育の充実	健康	幼児期運動指針を踏まえながら、体を十分に動かし、楽しめる遊びの内容・方法・場を工夫している。	
		教師、子ども同士と一緒に楽しく食べる雰囲気づくりをしている。	
		安全に落ち着いて生活できる施設・設備の工夫をしている。	
	人間関係	自分の力で行動することの充実感を味わわせる遊びを設定している。	
		身近な人と親しみ、かかわりを深める教師としてのかかわりをしている。	
	環境	発見を楽しんだり、考えたりする身近な環境にかかわらせる機会を充実させている。	
		物の性質や数量、文字などに対する興味関心を引き出す場を設定している。	
	言葉	自分の気持ちを言葉で表現する機会を得る教師としてのかかわりをしている。	
		想像する楽しさを味わわせる絵本、紙芝居などによる読み聞かせ等を充実させている。	
	表現	豊かな感性を養う直接的な体験活動を充実させている。	
感じたこと、考えたことを絵、音、動きなど様々な方法で表す遊びを設定している。			
特別支援教育の充実	「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」等を作成・活用したり、関係機関との連携を図ったりしながら、教職員の共通理解の下、子どもの実態に応じた指導内容・方法を工夫している。		
評価の工夫・活用	子ども一人一人の発達課題に即した行動の意味を理解し、次の保育に生かす環境の再構成や手立ての工夫に取り組んでいる。		
	週案や日案及び保育カンファレンスをもとに、記録を累積したり教師相互の情報交換や意見交換をしたりして多面的・継続的に子ども一人一人のよさや発達を見取っている。		